

◇合併以降

周産期学シンポジウム:歴代会長,学術集会の開催日時,場所,テーマ

回	会長名	所属	開催年月日	開催地(会場)	テーマ
38	村越 毅	聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター・産婦人科	2020年1月31日, 2月1日	浜松(アクトシティ浜松)	母児の予後改善を目指した合併症妊娠の管理
37	臼井 規朗	大阪母子医療センター 小児外科	2019年2月8日, 9日	大阪(大阪国際会議場)	胎児診断から始める治療戦略
36	中村 友彦	長野県立こども病院 総合産期母子医療センター	2018年1月19日, 20日	長野(メトロポリタン長野)	母体・胎児・新生児の立場から常位胎盤早期剥離を考える～母児の予後改善のために～
35	光田 信明	大阪府立母子保健総合医療センター 産科	2017年2月10日, 11日	大阪(グランフロント大阪)	周産期医療における「遺伝」を考える
34	中尾 秀人	兵庫県立こども病院 周産期医療センター	2016年2月5日, 6日	神戸(神戸国際会議場)	母児の予後からみた娩出のタイミングと方法
33	金山 尚裕	浜松医科大学医学部産婦人科学講座	2015年1月23, 24日	浜松(アクトシティ浜松)	周産期の炎症と感染～長期予後改善を目指して～
32	田口 智章	九州大学大学院医学研究院小児外科学分野	2014年2月7日, 8日	福岡(九州大学医学部百年講堂)	Pretermを考える～preterm児のCPと late pretermの諸問題～
31	北島 博之	大阪府立母子保健総合医療センター	2013年1月25日, 26日	大阪(大阪国際会議場)	成熟児のasphyxia とcerebral palsy
30	松田 義雄	東京女子医科大学産婦人科・母子総合医療センター	2012年2月3日, 4日	東京(シェーンパッハ・サボー)	長期予後からみた出生前診断症例における周産期管理の再評価
29	橋本 武夫	聖マリア学院大学	2011年1月14日, 15日	佐賀(どんぐり村)	周産期における鎮静・鎮痛・麻酔
28	齋藤 滋	富山大学大学院医学薬学研究部産科婦人科	2010年1月15日, 16日	京都(国立京都国際会館)	周産期と医療安全
27	大戸 斉	福島県立医科大学附属病院輸血・移植免疫部	2009年1月16日, 17日	郡山(ビッグパレットふくしま)	早産重症胎児発育不全 Severe preterm FGR(IUGR)
26	小泉 武宣	群馬県立小児医療センター	2008年1月18日, 19日	高崎(メトロポリタン高崎)	周産期の栄養
25	末原 則幸	大阪府立母子保健総合医療センター	2007年1月19日, 20日	大阪(大阪市中央公会堂)	周産期の輸血治療をめぐって
24	田村 正徳	埼玉医科大学総合医療センター	2006年1月20日, 21日	大宮 (大宮ソニックシティホール)	母体・胎児・新生児の心肺機能低下時の反応と対応

◇創立より合併まで

日本周産期学会：歴代会長，学術集会の開催日時，場所，テーマ

回	会長名	所属	開催年月日	開催地(会場)	テーマ
23	名取 道也	国立成育医療センター	2005年1月21日, 22日	東京(シェーンバツハ・サボー)	生活, 環境, 薬剤などの母児に及ぼす影響
22	戸苅 創	名古屋市立大学小児科	2004年1月23日, 24日	名古屋 (全日空ホテルグランコート名古屋)	母児の予後からみた娩出のタイミング
21	中林 正雄	総合母子保健センター愛育病院	2003年1月17日, 18日	東京 (東京プリンスホテル)	21世紀の周産期医療システム:問題点と展望
20	藤村 正哲	大阪府立母子保健総合医療センター	2002年1月18日, 19日	大阪(大阪国際会議場)	不妊治療と周産期医療
19	佐藤 章	福島県立医科大学産婦人科	2001年1月19日, 20日	東京(サンケイプラザ)	予後不良因子を有する胎児・新生児への医学的対応
18	仁志田 博司	東京女子医科大学母子総合医療センター	2000年1月22日, 23日	東京 (東京女子医科大学弥生記念講堂)	胎児・新生児の予後に影響を及ぼすウイルス感染(トキソプラズマを含む)
17	佐藤 郁夫	自治医科大学産婦人科	1999年1月22日, 23日	東京(サンケイ会館)	妊娠中期の胎児評価・管理および新生児予後
16	中村 肇	神戸大学小児科	1998年1月23日, 24日	神戸(松方ホールほか)	周産期の炎症とその周辺 A: 周産期の細胞障害 B: 子宮内感染と早産
15	西島 正博	北里大学産婦人科	1997年1月24日, 25日	横浜(パシフィコ横浜)	胎児循環と新生児循環—新生児遷延性肺高血圧症をめぐる諸問題 A: 原因・病態 B: 治療
14	桑原 慶紀	順天堂大学産婦人科	1996年1月20日, 21日	東京 (順天堂大学有山記念会館講堂ほか)	周産期のPharmacology A: 発達薬理学;胎児・未熟児の薬剤動態の特徴 B: 早産・PROMの治療に関する薬剤
13	多田 裕	東邦大学新生児科	1995年1月21日	東京(津田ホール)	中枢神経系の発達障害からみた周産期医療 A: 周産期と発達障害 B: 脳白質軟化と周産期の要因
12	中野 仁雄	九州大学産婦人科	1994年1月21日, 22日	福岡(パピヨン24ガスホール)	胎児治療／その適応と限界 A: 胎児治療の背景 B: 胎児治療の臨床
11	小川 雄之亮	埼玉医科大学総合医療センター小児科	1993年1月23日	埼玉(西武本川越ペペ)	多胎をめぐる諸問題 A: 多胎の諸問題 B: 双胎間輸血症候群
10	神保 利春	香川医科大学母子科	1992年1月18日	東京(きゅりあん)	胎外生命維持のバイオロジー A: 生育限界と児の発達生理 B: 超未熟性と生育限界
9	柴田 隆	順天堂伊豆長岡病院小児科	1991年1月20日	東京 (順天堂大学有山記念会館講堂)	A: 自己免疫疾患妊娠の基礎 B: 自己免疫疾患妊娠における母児管理
8	一條 元彦	奈良県立医科大学産婦人科	1990年1月20日	大阪(国際交流センター)	A: ATL B: 先天性横隔膜ヘルニア
7	武田 佳彦	東京女子医科大学産婦人科	1989年1月21日	東京 (東京女子医科大学弥生記念講堂)	IUGR A: 病因と病態 B: 管理と予防
6	竹内 徹	大阪府立母子保健総合医療センター	1988年1月23日	大阪(国際交流センター)	胎児仮死および新生児仮死 A: 病因と病態 B: 診断と治療
5	新井 正夫	北里大学産婦人科	1987年1月17日	神奈川(県民ホール)	A: 先天性心疾患の診断と治療 B: 妊娠30週未満の分娩方法をめぐる諸問題
4	奥山 和男	昭和大学小児科	1986年1月18日	東京(プレスセンタービル)	A: 羊水に関する基礎と臨床 B: 妊娠中期における前期破水の管理
3	前田 一雄	鳥取大学産婦人科	1985年1月19日	東京(プレスセンタービル)	A: 胎児, 新生児頭蓋内出血の成因 B: 胎児, 新生児頭蓋内出血の診断
2	坂元 正一	東京大学産婦人科	1984年1月21日	東京(プレスセンタービル)	A: IN UTERO CHRONIC PREPARATION B: 中枢神経系の先天奇形とその取り扱い
1	坂元 正一	東京大学産婦人科	1983年1月23日	東京(持田製薬ルークホール)	A: 胎児の機能的成熟—超未熟児の生育限界をめぐる— B: 非免疫性胎児水腫